

学期	月	単元・章	時数	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	鑑賞 ・日本の美術 －仏像彫刻－表現＋鑑賞	1	知：仏像の製作技法や表現様式の違いを理解している。	鑑：作品に込められた人々の思いを感じ取り、話し合い表現することができる。	鑑態：伝統的な日本独自の美意識や創造性・彫刻作品に関心を持っている。
	5	表現：アニメーション ・動きの創造について 「エンドレスアニメーション」の制作	5	知：アニメーション表現の方法、その特徴と内容の関連性を知る。 技：制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって創造的にあらわしている。	思：絵コンテやレイアウトの必要性や生かし方を考えて、表現を工夫し構想を練る。 表：アイデアを絵コンテにまとめ、表現を工夫し構想を練る。形や動きの幅を変化させ動きを確かめながら表現する。	態鑑：映像表現の魅力や、多様な表現方法に関心を持つ。動画の表現方法について要点を学び、自らの表現を考える。表したいことがよく伝わるように表現の工夫を考える。丁寧に根気よく動画を描く。
	6	・動画下描～清書 ・撮影・編集				
	7	鑑賞＋表現 ・英字の基本 ・ロゴタイプ ・プライベートロゴタイプの制作	4	知：レタリングでの効果的な視覚調整について理解する。 技：効果的な視覚調整・形の美しさと、イメージ表現を両立させて表現する。	鑑：視覚調整の効果を感じ取り、認識を深める。作品を見て、表現の工夫や描写的の確さを相互に感じ取り、味わう。 発：様々な表現の工夫を考え、効果を検討しながらアイデアを絞り込んでいる	態鑑：色と形を工夫して情報を伝える文字に関心をもつ。見やすくレタリングするための工夫に関心を持っている。 態表：イメージを盛り込んで文字のデザインをすることに関心を持って取り組んでいる。
		鑑賞 ・アニメーション 生徒作品・その他 表現 ・人権ピンバッチのデザイン 〔夏季休業中の課題〕	1 1	表したい人権について理解し、わかりやすい形で簡潔に表現している。	伝えたい内容から発想を広げ、わかりやすい形で美しく表現している。	態鑑：作品の良さを見つけ、表現の工夫を考察し、意欲的に共有している。 視覚を通して伝えることの楽しさに関心を持ち、構成や表現の工夫を考える。
2	9	鑑賞 ・空想の世界へようこそ シュルレアリスム	2	知：形や色、光などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに描かれた空想の世界を全体のイメージで捉えることを理解している。	鑑：空想の世界を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	態鑑：美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に空想の世界を描いた作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	10	表現 ・時間をテーマにした イメージ表現 ・スクラッチグラス －オリジナルクロックの制作	2	技：自分のあらわしたい空想の世界に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	発：現実にはない不思議なことに想像を膨らませることで主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	態表：美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に現実にはない不思議なことに想像を膨らませ、空想の世界をあらわす表現の活動に取り組もうとしている。
	11	・文字盤のデザイン ～アイデアスケッチ ～制作～着色	8	知：形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、描かれた感情や思いを全体のイメージで捉えることを理解している。	鑑：見えないものを形や色であらわした作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	態鑑：美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	12	・額縁のデザイン ～アイデアスケッチ ～制作～着色～ニス塗り	5	技：材料や用具の特徴を生かし、意図に応じて、自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	発：自分の感情や思いなどから主題を生み出し、単純化や省略、強調することなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	態表：美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分の感情や思いから発想を広げ、作品にあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。
3	1	・額縁のデザイン ～アイデアスケッチ ～制作～着色～ニス塗り	6	技：材料や用具の特徴を生かし、意図に応じて、自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	発：自分の感情や思いなどから主題を生み出し、単純化や省略、強調することなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	態表：美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分の感情や思いから発想を広げ、作品にあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。態表：美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分の感情や思いから発想を広げ、作品にあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。
	2		1		発：様々な表現や作品を振り返り、これからの自分と美術とのあり方を考え、表現する。	
	3	・生活と美術				
<p>評定 [300%(3観点の合計)÷3=100%]</p>				<p>知 (100%)</p>	<p>思 (100%)</p>	<p>主 (100%)</p>
<p>評価方法</p>				<p>定期考査 (30%程度) 授業内の活動 (70%程度) ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・作品</p>	<p>定期考査 (30%程度) 授業内の活動 (70%程度) ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・作品</p>	<p>授業内の活動 (100%) ・ワークシート ・作品 ・</p>